

第3回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 29日(月) 19時00 ~ 21時30		
市町村名	穂高町	グループ名	4
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

○前回の要旨の確認

○資料説明 費用対効果

概略ルートの検討 (豊科 ~ 大町の資料はない)

- ・ 県が造った内部資料

1.0 以上になれば社会的に実施する価値がある。実際は 1.5 以上で運用

質問・ に関して、なぜAルートが大きいのか、あまりに大きい、無理やり大きくしているのでは

そんなことはない。道が出来ることにより転換する車がでて交通量、短縮時間などからでた数字

- ・ 時間短縮について・・・実際にはそれほど短縮しないのでは

- ・ 予測台数がどこからきているのか知りたい

5年ごとの交通量調査がベースになっている。(これからどこに行くかなども聞いている) こういうデータを積み上げて、計算手法に基づいて、将来の交通量を予測する。データは膨大なので、専門的知識がないとわからない

- ・ 有料が無料が決まっているのか (無料が良い)

原則的に無料ということで。有料道路の規則で早く完成させるために有料になることもある。償還されれば無料に。今回はバイパスということで国庫補助でやることに。

○安曇野の環境を考えて、大町、小谷のことを考えると、Cがいいのではないかと思う。大町、波田を合同の話になったら「ウチはいらぬ」では話にならないのではないか。

○どちらにするということではなく、いろんな意見、要素ががらんでいることなのでどういう最大公約数をとったらいいか。各々の地域の事情を考えて、どうすればいいか考えていけばよいのでは。

○作るとすれば、と考えるならCルートになる。穂高はそれでいいが、梓川、波田からすると、もう1本ほしいだろうが本当に必要かどうか検討しないと。山麓線、サラダ街道を整備しないといけないのでは？梓川、波田は民家がなく、リンゴ畑で土地を手離したいのが本音かと思うが。

○北安の人たちは確かに災害に強いがほしい。しかし、それが高規格である必要はない、という人は多い。高規格はいったんご破算にして北安の災害に強い道路を考えてほしい。

○オリンピック道路ができたおかげで、観光客の日帰り客がふえた。はたして高規格道路でどうなるか。災害に強いということであれば道路だけではなくヘリの利用とか、病院を作るとか、考えられないか。

○概略ルート など見ると、よくわからない。整合性ないのでは。

前回の交通量予測など見ると、よくわからない。整合性ないのでは。

第3回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 29日(月) 19時00～21時30		
市町村名	穂高町	グループ名	4
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

- 前回の交通量予測のもとになる資料・式等を知りたい。
次回もとの資料にあたって説明する。
- OD調査のもとになる資料・式等を知りたい。
費用便益比は大町以北はないのか。
H11には波田～大町にしぼってやったので北の方は検討していない。
高速ネットワークの中での位置づけなので、その段階では詳細にはやっていない。計画路線になってからやる。(アバウトで認められたのか?) そんな単純なものではないが長野県としての位置づけの中で、ネットとしての位置づけできたので。
- 道がとだえることがあってはいけないということか。前回の説明では途中で止めることはできないといういわれ方をした。
去年までのスタンスはそうだが、いろいろ意見が出たので、原点に戻って考えたいということで。今回はまず、どういう意見があるかということで。白紙ということで。スタンスはとにかくいろんな意見を聞くということ。
配布の資料は求めに応じて、他のグループで出したものを共通の資料ということで出している。あくまでも意見を聞くということなので、自由に意見を出してほしい。
- 医療保険の改悪のように、日本の経済は世界でも優秀なのに、老人、弱い人にしわ寄せがきている。この道路にいくらかかるのかわからない。私たちの税金を使うなら、私たちの困っているところに使ってほしい。A・B・Cルートに関わりなく、これ以上道路には使わないでほしい。
(交通需要の説明)
国で色々なデータを使った数字を利用している。こういうものに基づいて数値を出したということを理解していただきたい。(もとの数字がほしい)
- (質問)人口が減るのに輸送人数が増えるのは? GDPが増えるのは?
- この道路について、どうですか、と住民に判断させるなら、現実的な数字や状況を知りたい。
- 穂高が交通量2倍になるというのはどうか
- 道路にお金をかけるのではなくて、教育とか別の所にお金をかけるべきではないか。医療とか、福祉とか。
- (質)交通需要・・・4)貨物車の指数が減っているのはなぜか
- (質)交通需要・・・3)車が増えて、鉄道が減っているのは事実。前回:鉄道を見直せという話があったが、現実にはこうではないか。
- 今の経済の状況で自動車中心ということを見直さなくてはいけない、という方向になっている。
- 先のことはともかくとして、現実大町の人にはほしいと言っている。どういう割合かはわからないけれど。大町からインターチェンジに行くのが時間がかかるのでダメ(企業が進出できない)との話があった。大町では、1つでも会社がほしいということがある。

第3回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 29日(月)	19時00～21時30
市町村名	穂高町	グループ名 4
メンバー	(: 司会、 : 記録者)	
<p>○大町の利便性を考えると・・・大町より、山形、朝日、波田の方が便利だろう。 前回の資料(2)路線概要の下から2番目の○印</p> <p>○(質)地域高規格道路の地域とはどこをさすか。</p> <p>○道路ができようができまいが、南の方に(人々が)出てきているのが実態ではないか。 大町をこよなく愛している人からすると、人口減少は問題。道路に期待をこめているだろうが、はたしてどうか。非常に疑問。</p> <p>○(質)調査費に1.5億円かかったといわれているが、調査費の内味を知りたい。 調査項目は(9/18説明会での資料を見て)こういった調査にかかったということ。</p> <p>○(質)コンサルタント会社がどのような形で調査するのか。 コンサルタント(千代田コンサルタント)に委託している。ケースによって違う。松糸については、現地測量はしていない、まず平面図を作って図上検討の段階</p> <p>○(質)特定の結論を理由づけるために誘導というか・・・A・B・Cルートの検討の手法など 波田起点になるように作られたような気がしてならない。なぜ、波田になったのかよくわからないまま。 費用便益についても、去年の説明会では、そんなものは存在しないといわれたような気がするが・・・</p> <p>手法は全国的に決まっているので、妥当だと思われる手法でこれまでの一般的な手法でやっている。</p> <p>○(ルートが)決まっていなかったら、なぜ堀金、穂高がでるのか。 (ルートの話)ルートは決まっていない。検討はあくまで県の内部資料という位置づけ。 公にはルートは決まっていないので、出す段階ではないと。</p> <p>○地元のおばあちゃんの話、前の町長が富田と豊里の間に道ができる。昔、説明があったと。 たぶんそれは木曽～安曇村～穂高～大町～中条の道路の話ではないか。一時、同盟会ができた(今回の話とは全く別)</p> <p>○波田起点で穂高(松川)の山麓を通るルートはやはり考えられない。こういう発想すること自体が理解できない。Cルートにしても、高規格道路となれば、地域分断など影響は大きく、池田町としてもそう簡単にはいかないのでは。</p> <p>○アメリカではダムを取りこわすというような例があるが、日本ではどうか。 環境をいくらで見るとはむづかしい。ダムの場合、建設費は出るが・・・。環境アセスメントの中で対応かと。(金額的にどうするというのはいない。)アセスメントの中で影響が大きいければ、それをどうするか、との対応が出てくる。</p> <p>○環境アセスで数値的なものはあるか。騒音、大気汚染など。</p> <p>○1.5億は大した金ではない(そのくらいはかかる)</p> <p>○金額うんぬんではなく。(住民も意見を出す)もっと専門の人にしっかりとしたことを検討してもらいたい。(この道路が本当に必要なのか)</p>		

第3回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 29日(月) 19時00～21時30		
市町村名	穂高町	グループ名	4
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

今の意見交換会は建設を前提としたもの。これらの意見をどう反映させるかということについては、確定しているわけではないが、道路懇談会(検討委員会)みたいなものを作って、こういう意見があった、というものを出して、方向性を考えるということ、一つのやり方として考えている。

- 安曇野は、自然にできたものではない。農家の人の力とか。
- 賛成にしても、反対にしても穂高にとって何がいいかという点では一致していると思う。調査するという事は、やる、という前提なので、調査するという事は問題があるのではない。道路が必要でなければ調査はいらぬのでは。「国滅びて、道路残る」ということにならないように。
- (質)H8.9 環境基礎調査とあるが、穂高・大町でやっているのか。やっていたらデータを知りたい。
概略ルートの検討の設計委託とは。業務委託との違いは見せてもらえないのか。(環境調査)
環境調査は穂高でもやっている。公文書なので閲覧にするか(閲覧は自由) コピーするとお金がかかる。一般的には公文書公開は有料。これまで配っているのは、対象資料ではない。もし必要なら持って来て見てもらってもよい。内容は、環境の要素をピックアップしたもの。文献を集めたもの。
設計委託は、図上の設計に近いもの。建設費を出すにはある程度のものを作らなくては行けない。表に出ているのはすべて委託。
- 道の向こうとこっちは分けられてしまう。
地域分断の問題は当然出てくる。
- 次回をどうするか。回数は?(3回と決まっているのか)
回数の制限はない。11月をめで、ということ。11月中ぐらいにグループのは終わらせてもらって、12月に穂高町の報告会をやりたい。
このグループで意見を集約するという事ではないので、ある程度出つくしたところで・・ということ。
- これからも(続けてやるのなら)「貿易」の発表の資料がないのでほしい。「姫川港」のもの。姫川港には、いろいろと入っているので高規格道路が必要。長野県が豊かになるには高規格道路があった方がよい。何でも反対ではおかしい。ルートはどこにすべきか検討してほしい。
- 本当に住んでいる人たちが、どう考えているのか。
- 必要、費用対効果という気持ちはわかるが、すべてダメだよってことはおかしい。
- そういうことではなく客観的な資料で、納得できることがあるかもしれないし、疑問も出るかもしれないし、そういう場合ではないか。今まで住民レベルで話し合う手法がなかった。

第3回 意見交換会 要旨			
開催日時	10月 29日(月) 19時00～21時30		
市町村名	穂高町	グループ名	4
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		
<p>次回 11月19日(月) 第2会議室 (町長のお話をお聞きしたい。町のビジョンをお聞きした。) 13日、19日は(今のところ)町長はあいている。</p> <p>○(質) 町でプロジェクトチームを立ちあげたらしいが、どうなっているのか 12年度、4回やった。メリット・デメリットを検討した。現在は活動していない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路ができた場合どうするか、ということを考える予定はないか。専門的でなくても、それぞれの部署の特性をいかした議論はできないか。 ない。どうしても職員でやるということは単純になってしまう。目に見えることしか出てこない。 ・資料は まとめてあるが、情報公開に関する文書なのか、資料としてだせるかわからない。 ・町の各行政の人たちはどういう話をしたのか気になっていた 上司に相談して、出してよいとなれば出すし、情報公開でということになればそれに沿って。 ・行政・町とすれば建設促進なんでしょ？財政、その他いろいろと検討されたのでしょうか？ 先が見えない中で、職員として考えていたことをまとめたもの。 ・(質) 東西に交差する道は、通れなくなるのか 財政は国・県で、取りつけ道路等、こまかいことはわからない。仮設道路などは県の費用で。重要な道路は止めるわけにはいかない。全部を通すわけにはいかないが、機能回復の部分は県(国)。全部作るってことだと町。 ○(質) 国道はどうなるのか 何とも言えないが、町道にはならない。県道になる可能性はないとは言えない。 ○(質) バイパスとして新しい道路ができると、格下げになるのですね。 そのまま残ることはあるが、県道になる可能性はある <p>最後に、次回配布希望の資料を確認</p>			